

学校名 東郷学園義務教育学校 校長名

永田 真一

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)			対策・改善点	評定(数値平均)			主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	・ P T A総会やP T A役員会，学校だより，学校運営協議会で伝えていく。	段階	人数	平均	・ 会議の際にも学校通信などでも明確に伝えてくださっていると理解します。 ・ 学校運営協議会の中で十分な説明を受けた。 ・ 学校だよりや総会資料等で校長先生の経営方針がよく伝えられていた。 ・ 学校便りで回覧が回ってくるが全てが見ていないような気がする。周知の検討が必要である。 ・ 地域についてはそう思えない。
			A	12	3.4		A	7	3.5	
			B	19			B	4		
			C	0			C	1		
			D	0			D	0		
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	・ 諸検査等の結果を分析し，各教科各学年部で具体的な取組を話し合い実践していく。	段階	人数	平均	・ 各学年部での取組が実践されている。
			A	12	3.4		A	6	3.5	
			B	19			B	6		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	・ 魅力ある学校学級づくりに意図的に取り組むよう定期的に振り返りを行っている。	段階	人数	平均	・ 授業参観を見ていると楽しい様子が伺えます。 ・ 小学生と中学生の交流は続けてほしい。
			A	8	3.2		A	8	3.7	
			B	22			B	4		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	・ 定期的な生徒指導委員会等の開催といじめを積極的に認知し迅速な対応を行っている。	段階	人数	平均	・ やれるだけの努力はされており不登校も少ない。ですが，取組に対する結果は後になってからの評価になるからです。 ・ 生徒指導部会での話し合う内容はすべての職員で共有されており個別対応がされている。 ・ 担任の先生以外の声かけもあれば良いです。
			A	18	3.5		A	8	3.7	
			B	12			B	4		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		

5	(3)	子供たちの安全（登下校時、自然災害時）について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	・ 係が実効性のある避難訓練を計画し、職員に危機意識を高めている。	段階	人数	平均	・ 地域全体で見守っていただけたいと思います。 ・ P T A等へアンケート調査が実施されていた。 ・ 通学路危険箇所等のアンケートを実施し危険箇所の把握や事後処置等が実施されている。 ・ 地域住民、保護者も危険箇所、また大災害の発生する予知の把握、予防等。
			A	17	3.5		A	7	3.6	
			B	14			B	4		
			C	0			C	0		
			D	0	D		0			

6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	・ 子供の自己肯定感・自己有用感が高まるような学級経営づくりを推進し地域の行事を知らせるようにしていく。	段階	人数	平均	・ 地域との交流を積極的に取り組んで頂きたい。 ・ 先生方への言葉遣い等の徹底 ・ C Sの日や学校行事等参観の他にも東郷もりあげ隊での交流など、地域と子供との交流がよく図られている。
			A	9	3.3		A	7	3.6	
			B	21			B	5		
			C	1			C	0		
			D	0	D		0			

7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	・ もっと整理整頓を心がけるよう指導し清掃の見届けをしっかりと行う。また、トイレのスリッパ並べを徹底する。	段階	人数	平均	・ 参観や訪問の時などいつもきれいに感じます。 ・ トイレのスリッパや外靴が整頓されており整っていない場合は指導が徹底されている。 ・ 広い校庭なのでもう少し土を肥えた土にして花や野菜等を植えてほしい。 ・ 整理整頓では「一事徹底」を設けるなどして継続した指導が必要だと思う。
			A	2	2.9		A	4	3.3	
			B	24			B	7		
			C	5			C	1		
			D	0	D		0			

8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	・ 係を中心に毎月点検を行い、修繕が必要な箇所は迅速な対応に努めている。	段階	人数	平均	・ 不審者への対策
			A	26	3.8		A	8	3.7	
			B	5			B	4		
			C	0			C	0		
			D	0	D		0			

9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	・ 学校, 学級だよりや学級 P T A・学校運営協議会で知らせるようにしている。	段階	人数	平均	・ 学校だよりで周知されていると思います。 ・ 学力, 体力の実態について学校運営協議会で定期的に周知している。 ・ 学校だよりを通して学力の実態がよく知らされていた。「歩いて登下校の日」の取組がとても良いと思う。 ・ 主観的にわが子の性格等を父母が分かっているのか。
			A	7	3.2		A	3	3.3	
			B	22			B	9		
			C	2			C	0		
			D	0		D	0			

10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	・ コミュニティースクールとしての学校の役割を職員に理解させ, 内容改善にも努めている。	段階	人数	平均	・ 協力はされていると思いますが, より一層の支援が望ましいと思います。 ・ 保護者も地域も協力的だと思います。 ・ コミュニティースクールに参加した児童生徒が積極的に取り組んでいた。 ・ 保護者の P T A 活動の積極性を求めたい。地域の方はとても良い。 ・ もう少し父母の参加があってほしい。
			A	17	3.5		A	10	3.8	
			B	14			B	2		
			C	0			C	0		
			D	0		D	0			

		学 校 名								
		東郷学園義務教育学校								
番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)			主な意見				
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が積極的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	・ 義務教育学校であっても不登校が出てくるので、小中間のより効果的な交流活動等を検討していく。	段階	人数	平均	・ 昼休みなど子供たちが一緒に遊んだり後期の生徒が優しく前期児童に話しかけたりする姿を見ると嬉しくなります。 ・ 6・7ステージなど合同で交流することでスムーズな中学ギャップがない。 ・ 小中一貫教育に対しては他校よりは効果的である。 ・ 他の義務教育学校との交流も良いのではと思う。 ・ 小中間の授業交流等ができるのは義務教育学校ならではのと思う。今後も更なる交流を期待する。
			A	7	3.1		A	8	3.7	
			B	21			B	4		
			C	3			C	0		
			D	0			D	0		
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・ 子供たちの心に夢と元気を与えるような講演会を来年度は計画する。	段階	人数	平均	・ 小さい時の感動は大きくなっても心に残ることが多いと思います。 ・ OBで講演を依頼しても良いと思う。
			A	14	3.4		A	7	3.6	
			B	11			B	4		
			C	3			C	0		
			D	0			D	0		
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	・ 楽しいだけでなくおさえるべき表現はしっかり身に付けさせる意識をもたせる。 ・ 英検受検者を増やしていく。	段階	人数	平均	・ 楽しく学習されているが英検等にチャレンジする意識は低い。 ・ 小学生でも日常の英会話ができてくると良い。 ・ 参観の機会がなかった。
			A	4	3.0		A	1	3.0	
			B	18			B	9		
			C	5			C	1		
			D	0			D	0		

14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	日々繰り返しの指導を行う。 ・ P T Aとも連携をとりながら全校的な取組を検討していく。	段階	人数	平均	概ねいいですがほんの一部の前期の女子が良くないところがあります。個人によりちがいはありますが。 ・ 自ら進んで挨拶をする子供たちが多い中、お年頃であったり性格だったりして返事がない生徒もいます。 ・ 中学生はあいさつができているが、小学生は一部しかできていない。 ・ 昨今、親同士が挨拶しない実態である。できるだけ立哨で大きな声で挨拶するようにしている。
			A	2			A	3		
			B	19			B	8		
			C	10			C	1		
			D	0	2.7		D	0	3.2	

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均（小数第1位まで）

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均（小数第1位まで）

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- 学校経営方針等についてまとめたものを別紙で年度当初に地域に全戸数分配付する。
- 特にあいさつについては学校関係者評価委員の声を職員や子供に伝え、生徒指導委員会や学校適応支援委員会で具体策を立てさせる。児童生徒会活動でも話題に取り上げ具体策を立てさせる。
- 特に花壇の土についてはP T Aと相談し土の入れ替えを検討していく。